

わたぼうし新聞 第18号

発行者：わたぼうし連絡会
発行日：1990年(平成2年) 2月20日

第18号の特集 「私の夢」

春になると 若葉がかおる

夏になると 大葉が繁る

秋になると 紅葉に染まる

冬になると 落ち葉となる

すべての生命が めぐりくる

すべての生命が ゆずりあう

この新聞は障害のある人、ない人が自由にそれぞれに考えを出し合い、主義、主張を越えて、お互いを理解し合う中から共に生きる豊かな社会を作っていくことを目的として発行しています。

障害者と自助具について

編集部

自助具とは、障害者が生活を大きく豊に広げていく鍵であると気がします。なお、以後の説明文は参考文献として、大阪市リハビリテーション市民講座、NHKラジオ・社会福祉セミナーテキストを使用しました。

1. はじめに

障害者の自立を考える上で、日常生活におけるいろいろな動作を一人で、しかも安全にできることは非常に重要なことである。これは、日常生活に何らかの動作に介護が必要な場合に、介護が必要であればあるほど介護者の負担が大きくなる。

最近では、人間工学などの進歩にもなって、各種の福祉機器が発達したり、生活の様式化によって障害者が自立しやすい環境となっている。

2. 障害とは

一口に障害といっても千差万別で、リハビリテーションでいう障害には、①脳性小児マヒのような生まれながらの障害、②脳血管障害のように病気やけがの後遺症として残ったもの、③リュウマチのように病気と障害が同居しているものがある。また、障害を分類すると3つに分けることができる。

①機能損傷・インペアメント (impairment)

医学的、生理学的に認定しうる器官・臓器レベルの異変であるところから、客観的事実としての「損傷または形態異常」といわれる障害である。

例として、交通事故で足が不自由になったとか、ガンで腕を切断してしまったとか、脳血栓で言語中枢が侵されてしまったという生理学的事実そのものをさす。

②能力不全・ディスアビリティ (disability)

医学的に実際を認識しうる損傷が回復しなかったことによって、引き起こされる人間生活上の機能に認められる支障である。損傷が第一義的な原因となって、動作や作業上に現れる支障である。

手足の麻痺のために身の回りのことができない、視覚障害のために信号を見て道路を渡れない、体が不自由だから職場で働けない、通勤ができないということで、社会生活上に不自由が現れてくる機能障害。

③社会的不利・ハンディキャップ (handicap)

医学的、生理学的に認識される第一義的な機能上の障害が生じ、それが原因となって社会的な差別を生むという障害。

障害者は大学に入れないとか、仕事につけない、というように社会が排除してしまうことなど。そのことによって、障害者が心に傷を受ける状態を意味する。これは社会が作った障害である。

3. 自助具（じじょぐ）とは

身体に障害をもった人が、身体の動きを補ったり助けたりする器具のことをいう。自助具の目的は、日常生活のことを自分一人で、安全にできることが目的といえる

基礎的な治療を行っても解消できない機能損傷を代償することに対して用いられるもので、自助具なしで動作が可能であれば使用する必要はない。

4. まとめ

障害の程度や種類によって自助具の有効性は異なる。適切な自助具を用いることは、障害者の自立を高めるための最もよい手段といえる。しかし、その反面、動作を楽にするはずの自助具は場合によっては、障害をさらにひどいものにしたたり、体の機能を低下させる場合もある。本当に必要以外は使用しないことが原則でいえる。自助具を用いる場合は専門家に相談することも必要である。

自助具について投稿していただきましたので、次ページに掲載いたしました。

私の自助具

地域住民・在宅障害者

私は65才の脳性小児マヒ者です。手足が不自由なので、食事も自分の手で食べにくい状態です。数年前から、自分で考えたフォーク、スプーンなどを作り、食事を何とか自分でできるようになりました。

何分にも手が口にとどかないため、スプーンも長いものを使用し、「長さが30センチぐらいのスプーン後ろにフォークを溶接します」。手がとどかない範囲をそのフォークを利用しています。今では、魚でもフォークを使い、何とか自分一人で少しずつ食べられるようになりました。

今まで妻に食べさせてもらっていましたが、自分の嫌いなものまで口に入れられ、無理やり食べていたのです。しかし、今では、好きなものを自分で取って食べられるようになりました。

工夫をすればいろいろなことが、片手が利かなくても自由に食べられるように、今後も何か食器類を考えて挑戦したいと思っています。皆様も私のように工夫したことをお知らせ下さい。

日常生活用具あれこれ

地域住民・在宅障害者

友人より「朝、目がさめてから、夜、眠るまで体を動かすために、いろいろな工夫している」という話を聞きました。顔を洗うこと、トイレをすること、食事をする事など。何よりも、その場から身体を移動するための方法など、すべての面において何かの力を借りなければなりません。人であったり、物であったり、その両方であったりします。重度障害者といわれる私にとって、生きて行くことそのものにたくさんの力が必要です。

毎日の生活の中で助けを借りなければ、何もできない私は、少しでも自分の力で何でもできるようにになりたい。

世の中では、そんな障害者のために自助具・補助具・福祉機器などが開発されつつあります。

例えば衣服ですが、少しでも着やすくするためにボタンホールを大きくしたり、袖口などはマジックでとめることができます。

ズボンはファスナーやマジックを利用し、形状は大きめにしてあります。歯を磨くときは電動歯ブラシがあります。口にもっていけば、手に力がなくても使えます。

それでも、必要な用具がマスコミでは、なかなか紹介される機会が少ないので、今後は当新聞で紹介をしていきたいと思います。

電動歯ブラシについて

障害者支援施設・利用者

脳性小児マヒの特に硬直（アテトーゼ）が強い人の歯の治療は、歯医者さんが苦手とします。私も昨年2ヶ月間歯医者に通院しましたが、緊張して動くために歯医者さんに「動くな！」と叱られながら通院をしました。

そこで、これからは「絶対には医者に行かない」方法として、テレビのCMで知った電動歯ブラシを使って、毎食後、食塩をつけて血が出るまで磨いています。

私のような硬直が強い人は、歯医者さんにとっては治療が難しいのです。だから、いかにして、自分の歯を守っていくかを考えることが大切ではないでしょうか。

現在、感電池式から充電式の電動歯ブラシが販売されています。値段は3,000～10,000円まで各種あります。あなたも一度使ってみませんか。あなたの自助具を「わたぼうし新聞」に教えて下さい!!

テーマ 《私のゆめ》

今回はそれぞれの持っておられる夢について、投稿をしていただきました。

私の夢

地域住民

私の今年の夢は、まず一つめはワープロをマスターすること、二つめはアマチュア無線の資格を取得すること。そして、三つめは精神面の充実を図ること、豊かな心を養うことを目標にしています。といっても、何も今年に限って考えているわけではないのですが、ずーっと前から思っているだけで、少しも前進しないのです。

思いぐせです。口先だけで少しも行動が伴わないのですから・・・。

ワープロの方は、どこかの文化センターの教室へでも行こうかな？ それとも市役所で定期的に行っている講座を受講しようかな？ でも、それは技能が高度なのかなあ？ 私みたいな初級者は大丈夫なのかな？ という具合で積んだり、くずしたりしているうちに、そのままという感じです。

アマチュア無線の方もそれと全く同じ状態で、どこで資格試験を行うのか、どんな勉強をすればよいのかな。と、思っているだけで、それを問い合わせるでもなく、ただ何となく日々を過ごしています。二度と巡ってこない、今日という日を大切に、そして、有意義に過ごしたいものだと思います。こんな時に「わたぼうし新聞」第17号を手に入れました。

巻頭に出ている星野富弘氏の詩。

黒い土に根を張り どぶ水を吸って
なぜきれいに咲けるのだろう
私は 大ぜい人の姿の中にいて
なぜみにくいことばかり考えるのだろう

この詩に出会って、頭をハンマーでたたかれたような気持ちです。これからは、たとえ何もできなくても、ただ怠惰に過ごすのではなく、充実した日々をしたいものです。

皆さんの中にはたぶん、私の三つの夢はもうかなえてしまった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私は三つといわず、このうちの一つでも夢がかなうよう頑張ります。

私の夢

地域住民

障害が「ある」「ない」というその一言で、どれだけの大きな壁が作られてきたのだろうか。例えば、その障害が見える、見えないにしる、優しく思いやりのある、大きな心さへ持ち合わせていれば、何もない空間に変わってしまうのではないだろうか。

私は10年ぐらい前から手話サークルに通っている。しかし、その世界はどうしても聞こえない、話せないということにより、「してやる、やってやる」というスタイルに早変わりしてしまう。すなわち「技術だけを追う」という型に固まってしまうようだ。よく言

われる「手話は心」という言葉は、本当にそうなのだろうか。

実は逆なのではなかろうか。と、思うことがある。「心があれば、手話に頼らなくても、心を通じ合うのではなかろうか」。少しの仕草、心使いで、お互いが解り合えるのではないのでしょうか。

私はいつの日も、特別な形を持たなくてもよい、素晴らしい空間を作ることに夢を追い続けて行ける、ただの人ありたいと思っている。

私は保母さん!! **障害者支援施設・利用者**

私の夢は保母さんになることだった。だけどその夢は消えてしまった。

でも、私の心の中には、健康な体で保母さんになっている。障害のある子供たちの施設に思いやりがあって、その子の気持ちを理解して、言語障害の子に最後まで話を聞いて上げられ、明るく子供たちを楽しませてあげることができて、てきぱきと体が動く保母さんになりたかった。

いつまでも、その気持ちと夢を大切にしていきたい。いつか、その夢がかなうことを私は信じています。

保母さんになったら、今度は私が反対にお世話をしてあげる。今まで、私がお世話になった分をお返しすることが、私の夢です。

私の夢は作詞家!! **障害者支援施設・利用者**

私が現在、思っていることは、作詞をうまくできないかということです。私はよく音楽を聞きます。

洋楽、ロック、ニューミュージック、その他にいろいろな音楽を聞きます。ときどき、頭の中でイメージが浮かぶのですが、それらをなかなか詞にできなくて困っています。でも、好きなことをとことん、やりたいので頑張ります。

今は、作詞の通信教育を受けて、もっと勉強をして身につけたいと思っています。皆さんも何かを身につけて、頑張ってください。

私の夢 **障害者支援施設・利用者**

夢それは 楽しく語り合うもの
その夢を 育てる大切なもの
しかし 少しのことで壊れていくもの
誰でも 心の中で追いつけるもの
それも夢

Nさんが、詩集を自費出版

富山市下飯野にある高志授産ホームに入所しているNさんが、自費出版しました詩集「NOW MY LIFE MY TIME」が編集部に届けられました。内容は、Nさんがこれまで制作した詩、友人のメッセージが載せられています。

この詩集に夢に関する詩がありますので、掲載させていただきます。

つばさがあれば

夢の中のできごと 空を翔んだんだ
背中に大きなつばさをつけてね
高く高く翔んだ
自由な大空をどこまでも果てしなく
だけど…… それは…… 夢……
天使にはつばさがある
なぜ人間にはつばさがないの
つばさがあれば
この広い大空に自由に
翔びまわることが出来るのに
ただ…… つばさがあれば

人物紹介

～M.Nさん～

- ・誕生日：昭和23年7月9日生まれ
- ・病名：進行性筋萎縮症（進行性筋ジストロフィー）
- ・住所：金沢市岩出町 医王病院内
- ・出身地：滋賀県、現在は国立療養所医王病院に入院中
- ・行政に望むこと？：金沢にも介護者付き共同ホームを建設して欲しい。
- ・健常者とかかわりは？：ギブアンドテイク、ケースバイケースの考えを基本に友だち付き合いをしている。
- ・好きな色：赤（情熱を表し暖かい）
- ・趣味：アマチュア無線（JH9VPO）、囲碁、映画鑑賞
- ・今、行っていることは？1990年9月22日（土）～23日（日）の2日間、北陸東海車いす市民集会在金沢で開催されます。その手伝いをしています。
北陸東海車いす市民集会では、障害のある人、介護する人も、大勢の人たちを募集していますので、参加希望者は下記の事務局まで連絡して下さい。
- ・事務局：☎ (0762) 32-2973

ワンチャン・ニャンチャン大集合 ～ニャンチャンの巻～ 地域住民

- ・名 前：寺尾リリイ
- ・年 令：16才
- ・性 別：メス

リリイはわが家のアイドル！といっても、今年で16才。人間いうと、もうおばあちゃんなのです。私（モモコ）が小学校一年生のとき、リリイをおじさんからもらい、学校から帰ると一緒にボールで遊んだり、お手の練習をしたり……。でも、なぜかリリイは“お手”ができません。

リリイには“お手”も“おかわり”もできませんが、名前を呼ぶときちゃんと「ニャオー」返事ができます。夜になると、おばあちゃんのくせに甘えん坊さんで、私の布団の中にもぐりこんできて、一緒に寝ています。でも、そんなリリイが大好き。いつまでも長生きしてね。リリイおばちゃん！

係からのお願い

このコーナーに登場してくれる愉快なワンチャン、ニャンチャンを広く募集しています。ただし、写真は印刷ができませんので、イラストを添えて下さい。

われら仲間たち

石川県肢体不自由児（者）協会北支部

こんにちは、石川県肢体不自由児（者）協会北支部です。私たちは七尾、鹿島地区を中心とした能登地区肢体不自由児（者）を持つ親の会です。

支部が結成されて10年有余。当初は同じ地区に住みながら、名前も知らない。これでは都合が悪いという理由が、16名で竹の子会という親睦団体を作りました。

しかし、子供たちの将来を考えたとき、このままでは問題解決にはならない。それよりも一歩前へ出て自分たちの要求を実現したいという願いで県協会のご指導により北支部を結成しました。

支部を作ったものの、素人の私たちには・政治の仕組みも知らず、ただ能登地区に施設の一念で無我夢中で活動してきました。今日の「青山彩光苑」という立派な施設ができるとは夢想もできませんでした。

今日では会員数30名弱、七尾、鹿島の各行政の援助を受けながら、月一回の例会、学習会、子どもたちと共に、野外バーベキュー、クリスマスパーティ、和倉温泉「六翠苑」で温泉療養などで会員相互の親睦、障害者福祉向上を目指す皆さん、私たちと共に悩み、考え、学習しませんか。仲間の皆さんのご一報を心よりお待ちしております。

もの知り博士登場 航空運賃割引制度について

読者の諸君コンニチハ、毎日、雪が降って寒い日が続いているが元気で過ごしているかな。前回に引き続いて交通機関割引制度について講義をする。今回は航空運賃割引制度について講義をする。

国内航空各社は、一定の身体障害者について、次のような割引措置を行っているのだ。

まず、割引対象者であるが、第一種身体障害者手帳の所持者とその介護者及び一定の障害を有する者。

一定の障害とは次のようなものである。平衡機能・音声機能・言語機能、またはそしゃく機能の障害等は3級までの障害者手帳を有する者。肢体・視覚・聴覚の障害等は4級までの障害者手帳を有する者である。

さて、割引率であるが、定期航空路線の国内線全区間において、いずれも普通大人片道の25%である。なお、第一種身体障害者については、介護者付きまたは単独のいずれも問わない。

実はこの講義をしているワシもはずかしい話だがまだ一回も飛行機に乗ったことがない。死ぬまでに一回は乗ってみたいと思っている。じゃ、今回の講義はこれで終わる。ワシへの質問をたくさん待っている。バイバイ。

(参考文献・介護福祉士養成講座・障害者福祉論)

各地の催し物に参加して

'89「走れひまわり号」 《10月》

10月29日(日)に秋晴れの中、ひまわり号は金沢から飛騨・高山へ障害者の夢を乗せて走りました。

列車の中では、ギター演奏・俳句・短歌大会・車内販売などが行われました。高山に着きますと、高山散策、オリエンテーリングなどが行われました。今回は国指定重要有形民俗文化財である「高山屋台会館」について書きます。

高山屋台会館は4月の春祭、10月の秋祭に使われる屋台を保存展示してある施設です。

この祭に出される屋台の特徴は、均衡のとれた優雅な外形と、すみずみにまで行きわたった細かな気配りで、木工・塗り・彫刻・金具・人形にと望み得る最高のかたちをつくり出そうとしたところにあります。こうした職人芸の絆を、統合しながらプロデュースして、一台の屋台が仕上げられた旦那様の美意識と、それを大切に守り伝えてきた町人の情熱で、現在も眼前に屋台を見ることができるのです。

しかし、現在23台残るこれらの高山祭屋台も年に一度祭にしか出されませんでしたので、遠方から来られた方々にも年間を通して屋台を目にしていだきたいということから、この会館が作られたそうです。

館内はスロープになっており、車いすでも見学ができます。しかし、屋台を保護するために、照明は落とされ、ガラスごしにしか見学はできませんでした。こんどは本当の高山祭を見てみたいと思いました。

「ひまわり号」出発進行

障害者支援施設・利用者

10月29日の朝、金沢駅で出発式を終えた「ひまわり号」は、飛騨高山へ向けて出発進行！！金沢駅を8時に出発した「ひまわり号」の車内では、たくさんの楽しい催し物がありました。

自己紹介、一日車掌さん、歌、車内販売、「ひまわり号新聞」など楽しい企画が一杯でした。「走れ！走れ！走れ！僕らのひまわり号」。

さて、「ひまわり号」は飛騨・高山に到着しました。高山での思い出は屋台会館でした。高山祭で使う大きなお神輿がたくさんあり、あんなに大きなお神輿を見たのは初めてでした。道端では団子を食べました。おいしかったので、ホッペが落ちそうになりました。

帰りの列車内では、少し疲れが出て眠ってしまいました。しかし、車内でもいろいろな企画があって、楽しかったです。

金沢駅に、6時30分に着いた「ひまわり号」を降りて解散。その日は朝からワクワクとした楽しい旅の一日でした。今年も、また「ひまわり号」に参加したいと思っています。この日の思い出は忘れないように心の中に閉まっておきます。

障害者ための'90生活福祉展より 《1月》

資料提供・石川県身体障害者団体連合会

1月27日～29日に金沢名鉄丸越において、障害者の福祉展が開催されました。その一環として、障害者、老人のためのいろいろな福祉機器・日常生活用具が展示されました。その他に、手話や点字の体験コーナー、障害児の絵画展、第27回全国身体障害者スポーツ大会ほほえみの石川大会の紹介、授産施設の即売コーナーなどがありました。県身連のご協力で、展示品目、会場での声などを抜粋してここに掲載しました。

(期間中の入場者1,377名)

開催目的

障害をもつ人びとが、日常生活が便利におこなえるように工夫された福祉機器、および障害者の人びとが制作した作品・製品等を展示し、広く県民に紹介するとともに障害者の理解を深め、障害者の社会参加に資する。

主な展示品目

・ワープロ通信 ・車いす（電動・手動） ・階段昇降機 ・入浴用品（簡易浴槽・洗髪器・シャワー） ・トイレ用品 ・介護用品 ・コミュニケーション用品（補

聴器・ペンホルダーなど) ・第27回全国身体障害者スポーツ大会のパネル・ビデオ ・体験コーナーとして、パソコン、点字器、手話、目隠し歩行などがありました。

会場での声から

- ・健常者には気づかない不便さが、障害をもった方にあるということがわかった。
- ・体験コーナーがよかった。
- ・病院を退院する際、患者さんが安心して在宅になることができるように、病院コーナーを設けて、愛ある指導、販売の世話をしたい。
- ・商品の予約をとって欲しかった。
- ・医療器具に値段がついていなかった。
- ・おむつをどこで買うのか。
- ・食器類の質問、問い合わせが多い。
- ・文部省は口話を指導、厚生省は手話を指導しているが、統一すればもっと普及して便利なのに……。
- ・精神薄弱者からみると、さまざまな用具、器具を使って不自由者を捕らえることは、うらやましく思えることがありますね。
- ・工夫された用具は確かに便利で、また必要なのだが、介助者も本人も頑張ることによって、寝たきり老人が回復する場合がある。
- ・「障害者は苦勞しているねえ～」と、母親が子供に話していた。
- ・全国身体障害者スポーツ大会のビデオを見て、金沢で行われると聞いたので、とても楽しみになってきた。

お詫びとお願い

今回、多数の方々に当新聞へのご投稿を依頼いたしましたら、予想を上回る皆様のご協力がありました。ここに厚くお礼を申し上げます。投稿なされた原稿の全部を掲載したいのですが、なにしろ限られた紙面ですので、次号の原稿とさせていただく場合がございます。ご了承下さい。

わたぼうし広場

障害児教育の現場から

養護学校校長

朝、始業前にT君と一緒に校内を一巡しています。T君は耳は聞こえますが、言葉は話せません。高等部三年生なので、あとしばらくで卒業して行きます。

言葉はないが、意志があります。自分のして欲しいことや欲しいものがあると、表情や手まね、行動で表します。しかし、その表情やサインを読みとることが大変なのです。

いつも一緒にいる母親なら、わずかの視線の動きで心を読みとることができるのですが、

普通の人にはそれがわからないのです。私と彼が校内を巡視するようになって三年になります。それから、やっと、彼の心が読みとれるようになったのです。と、いっても、彼の心のすべてではありません。ほんの一部だけにしか過ぎません。

T君は自閉症です。一年生のときから養護学校で学んでいます。知恵遅れの程度も重度なので、とうてい教えてわかる程度のもではありません。母親がT君の幼いころから言葉を繰り返し教えてみましたがだめでした。担任の先生も試みましたがだめでした。

言葉を習得しないT君には、こちらがT君の心を読みとるしか、コミュニケーションの方法はありません。

多くの場合、障害者が普通一般の人に合わそうとする。しかし、T君のように情緒障害の子の場合は、合わそうにも合わしようがない。そこで、周囲の人が彼に合わさざるを得ない。そうでなければ、彼らの生活は成り立たないのである。

知恵遅れ養護学校の教育は、心を読みとることから始められます。生きている心を大切にして、心に話しかけるようにかかわりを持つことが、養護学校教育の指導法です。

普通一般社会の人たちが、障害者の心にもっと近寄り、話しかけるような温かい気持ちで接することが大切ではないでしょうか。

クルマと教員の免許

養護学校教諭

1968年4月、小学校の先生になる内定通知をもらっていた私が、どういうわけか養護学校勤務を命ぜられたのです。養護学校に勤める場合には、クルマでいえば普通免許に加えて特殊免許が必要なのですが、当時は普通免許しか持たなかったのですよ。でも、後になって知るのですが、教員の免許に関する法律には「特殊免許がなくても、ここ当分の間は運転をしても（させても）よい」という特例条項があるのです。

これだけで驚いてはいけません。皆さんは「当分の間」といったら、どの程度の期間を想像しますか？なんと、この法律にいう当分の間は、戦後この法律ができてからズ〜ッと今も続いているのです。

①無免許が②40年以上も許される、こんなことがクルマ社会にまかり通っていたら・・・想像しただけでもゾッとしませんか？

さて、私が障害児教育に携わって最もありがたく思っていることは、クルマの運転の方は無事故・無違反を継続中だということです。1965年に免許を取得して以来、今日まで（不可抗力の事故と自損のボカを除いて）他人様の生命、財産に危害を与えたことがありません。大変な短期虫の私がどうしてでしょうか？

世の中にはクラクションを鳴らしても聞こえない聴覚障害の人もいれば、本人は精一杯歩いている、いつ転ぶかも知れない肢体不自由の人もいます。また、信号や路上の障害物が見えない視覚障害の人もいれば、左右の安全確認を十分せず飛び出す知恵おくれの子もいます。このような人たちとも一緒に社会生活していること、このような当たり前のことを私は養護学校に勤務し、やっとわかってきたのです。

ハンディキャップのある人を交通事故に巻き込んでほしくないし、新たに交通事故障害

者を増やしてもならない。この思いが歩道も未整備なら、道巾も狭いこの地方での私の運転の基本になったのです。もし、内定通りに普通校に勤務していたら……。まあ、障害者も道路を歩いていることに気づくのは、1～2回事故を起こしてからだったろうと思います。

「ほほえみ石川大会」について

匿名者

私たちは現在、平成2年に金沢で開かれる「車いす東海北陸大会」の準備をしております。が、先日来、この大会に参加する80余名の宿泊施設と会場さがしを行いました。

金沢市内にはホテル・会館・旅館など、たくさんの宿泊施設があります。しかし、トイレなどの設備が不十分なものや正しい理解が得られないものがあり、車いすの私たちにとりましては、ごく限られた場所しか利用できないことを痛感いたしました。

昭和56年の国際障害者年において「完全参加と平等」が叫ばれてから、皆さんには久しいわけですが、未だにこのような状態であることを残念に思います。

平成3年には第27回全国身体障害者スポーツ大会「ほほえみの石川大会」が開かれます。全国から来県される多くの仲間たちを暖かく迎えるために、設備、心がともに充実した宿泊施設の増設を望むものであります。

文芸 ～詩～

何げなく

障害者支援施設・利用者

何げなく歩ける 何げなく歩ける
こんな素晴らしい
幸せなことはありません
どんなにぎこちなくても……
どんなにふらつきながらでも……
歩けるって幸せです
素晴らしいことです

何げなく朝が来て
何げなく服が着れて
何げなく立つことが出来て歩ける
何げなくトイレが出来る
何げなく両手を使って顔が洗える

何げなく右手に箸を持って
左手にお茶碗を持って、ご飯が食べれる 幸せです
何げなく靴が履けて外に出れる
何げなく空の下を歩ける
自由気ままに……

時には笑いながら……
時には話をしながら……
歩ける 何げなく歩ける
何げなく一日を過ごせる

どんなに素晴らしいことでしょう
どんなに幸せなことでしょう
今の私は……
何げなく 何げなく
この言葉が素晴らしく
幸せに美しく思えるのです

(詩集『あゆみ』より)

本の紹介

私はスター気分 ～山崎ゆかり詩集～

かもがわ出版

定価：1,200円（税込み）

この詩集のタイトルにもなっている「私はスター気分」という詩を書いているころだったでしょうか。ある日私はデパートへ行き、エレベータ待ちの間、椅子に腰かけていました。すると、孫らしき赤ん坊を抱いた老夫婦がにこにこ笑いながら私のそばに来て、突然赤ん坊を抱かせてくれました。いま思えば、あの老夫婦は「私たちは障害者を差別していませんよ」ということを言葉ではなく、態度で伝えてくれたのでしょうか……。 (あとがきより)

原稿募集について

昭和60年に創刊しましたわたぼうし新聞も、6年目を迎えることが出来ました。今年8月発行予定の当新聞が20号にあたります。

それに先立って、当新聞が20号を迎えるのにあたり、当新聞との思い出、ご批判、ご希望を広く募集します。字数は600～800字以内にまとめて編集局まで送付してください。

また、催し物情報・日常生活用具・来年、石川県で開かれる第27回全国身体障害者スポーツ大会への抱負・文芸・自由投稿などを広く募集しています。

編集後記

毎年、冬の天気予報に大雪が降ると予想されますが、ことしも、一般的には降ったものの春を思わせる日何日もありました。昔に比べて雪が少なくなったような気がします、何故なのでしょう？

地球の温暖化とか、その他いろいろ言われますが、こればかりは自然界のことで、文明が発達しても人間には許されない世界なのですね。(H. A)

今回、自助具の記事を書くにあたり、資料をいろいろと調べてみると、自分の知らないものがたくさんありました。それがうれしかったり、びっくりしたりでした。これからは一つ一つ利用方法などを紹介していこうと思います。風邪がはやっています。外出から帰ってきたらうがいをして予防につとめましょう。(T. K)

ただ今、「私の自助具」原稿募集中 !!

19号のテーマは「私の自助具」